

「第2期 明石市公共施設配置適正化計画（素案）」への意見募集結果

1 意見募集の概要

- (1) 実施期間 2025（令和7）年12月15日（月）～2026（令和8）年1月14日（水）
 (2) 提出された意見の件数 4名の方から、12件のご意見をいただきました。

2 提出された意見及びそれに対する市の考え方

No	いただいたご意見（全文）	市の考え方
1	<p>3 第1期計画の検証 ～ P.8～9</p> <p>① 結論の前に、当初目標(2014年度末)の実績明示をしてください。</p> <p>・縮減目標㎡(26,674㎡)～達成㎡・達成率を明示してください。(グラフは必要です)</p> <p>・新施設など増加㎡は、新施設の㎡を表にしてください。</p>	<p>・縮減目標▲3% (▲26,674㎡) に対し、実績が+18,534㎡となっているため、達成面積や達成率をマイナスで表記すると分かりにくくなります。そこで、目標未達をわかりやすく示すため、実績は+2.1%として記載しています。なお、▲3%の縮減目標面積については追記します。</p> <p>・新施設など主な施設の増減に関する表も併せて追記します。</p>
2	<p>6 公共施設マネジメントの基本理念・基本方針 ～ P.23</p> <p>①(1) 基本理念 ～ P.23</p> <p>① <u>まちの魅力の向上につなげること</u> ↳ <u>市民サービスとまちの魅力の向上につなげること</u></p> <p>○ 視点の追加 <u>市民との情報共有のもと市民参画と協働ですすめること</u></p>	<p>・基本理念の3つの視点のうち、「①まちの魅力の向上につなげること」では、「新たな市民ニーズに応じたサービスの向上を図り、まちの魅力を高めていくことが求められます」と記載しています。これにより、市民サービスの向上はまちの魅力向上に含まれ、端的に表現しています。</p> <p>・視点の追加については、理念の副題「対話と共創で魅力ある明石を未来へ」の「対話」に、市民との情報共有に加え、市民参画や協働の要素を含む考え方が込められています。</p> <p>・市民との情報共有のもと市民参画と協働ですすめることに関する記載は、P.42 公共施設配置適正化の進め方に追記します。</p>
3	<p>①(2) 基本方針として6つの原則 ～ P.24</p> <p>○ 視点の追加</p>	<p>・「市民との情報共有のもと市民参画と協働ですすめる」という視点は、公共施</p>

	<p>基本理念で、同上の視点の追加が不可であれば、原則の追加で。 <u>市民との情報共有のもと市民参画と協働ですすめる</u></p>	<p>設マネジメントを推進する上で非常に重要と考え、基本理念の副題に「対話」と掲げています。基本方針では、公共施設を取り巻く課題の解消と持続可能な施設運営に向けた取り組みを推進する方策を示しています。 ・市民との情報共有のもと市民参画と協働ですすめるに関する記載は、P. 42 公共施設配置適正化の進め方に追記します。</p>
4	<p>数値目標 1 ～ P.27 ○ 施設総量の縮減 ▲4% ① 国の人口推計から、一市の SDGs 推進計画との整合性は。 ② 市民一人当たりの施設総量の維持の是非 年齢構成からの変化から、子育て施設、高齢者施設、学校、市営住宅も、もう少しシミュレーションできませんか。目標達成は運まかせですか。</p>	<p>・①あかし SDGs 推進計画には、市と国の人口推計が記載されています。現状は人口増加傾向にありますが、将来的には少子高齢化による人口減少が避けられない状況です。持続可能な施設運営を目指すため、中長期的な目標設定と取組の推進が必要であることから、国の人口推計を踏まえ、4%の縮減目標を設定しています。 ・②市民一人当たりの施設総量の維持については、上記①の観点を踏まえ、現在および将来の市民が受ける公共施設サービスの公平性を重視しています。年齢構成の変化に基づく各施設のシミュレーションは難しいですが、第2期の縮減目標においては、実現可能な数値目標とするため、市営住宅等の今後10年間ににおける新設・廃止・複合化など、配置適正化の方向性が決まっている施設の延床面積の増減見込みや、第2期計画の重点施設における廃止や民営化の取組による試算を、計画の P.133～P.134 に記載しています。</p>
5	<p>数値目標 2 ～ P.28 ○ 新財源の確保として ・公共施設の屋根等に太陽光パネルの設置による収入 脱炭素計画にも貢献</p>	<p>・太陽光パネルの設置については、計画の P.38「(4) 脱炭素化の推進」に掲げており、公共施設への設置は持続可能な社会の実現に向けて重要な取組と考えています。一方で、設置には一定の投資</p>

		が必要であり、コストに見合った歳入確保や経費削減効果が求められます。そのため、施設の新設・更新等の際にはライフサイクルコストを考慮し、導入の検討を進めていきます。
6	<p>7 公共施設マネジメントの取組手法 ～ P.29～30</p> <p>取組手法1 施設の有効活用</p> <p>○ 余剰スペースの洗い出し大賛成</p> <p>○ かつ、逆に活動できるフリースペースをつくる。無料が望ましい。</p> <p>現在、ボランティア活動、市民活動、住民同士の交流、多世代交流などの貸室(有料、無料とも)が不足しており、地域でもバラツキがある。</p> <p>(コミ創/明石市 市民活動・ボランティア・サークル団体 実績調査報告書 2025)</p> <p>○ 地域を単位とした、例えば中学校区内の市施設、自治会施設などの機能、存在理由、活動目的をまとめ、地域で、市施設の代用を検討する。</p> <p>○ まち協とふれあいの里、厚生館、地域自治施設との交流、スペース利用も可能になります。</p>	<p>・余剰スペースの確保については、利用者が減少傾向にある施設などの利用状況を精査し、余剰となっているスペースを洗い出して有効活用する必要があると考えています。</p> <p>・市民等が活動できる貸室などのスペースの必要性は認識しており、いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
7	<p>8 公共施設配置適正化の進め方 ～ P.42</p> <p>(3) 市民との情報共有 ↓</p> <p>○ 市民と情報共有し、市民参画と協働で</p>	<p>・ご意見を踏まえ、「市民との情報共有を通じた参画と協働」に変更します。</p>
8	<p>・庁舎やクリーンセンターの再整備など老朽化した施設の改修に多額の税金の投入が必要であると考えられます。</p> <p>計画にも記載のとおり、全ての施設を維持・更新することが難しい状況であることは想定できます。老朽化した施設を統廃合するなど、子供たちへ負担を先送りしないよう、施設の持続可能な運営に向けて、取組を進めてもらいたい。</p>	<p>・庁舎やクリーンセンターなど老朽化した施設の改修には多額の財源が必要であり、市の財政状況を踏まえると、すべての施設を維持・更新することは困難と考えています。</p> <p>・中長期的には、施設の廃止も視野に入れつつ、複合化や集約化を進めることで施設総量を縮小しながら、機能やサービスの維持・充実を図ることが重要です。</p> <p>・また、施設の管理運営費削減に向けて、電力料金の低減に向けた取組やネーミ</p>

		<p>ングライツ等の広告料収入の確保、さらに施設使用料など受益者負担の見直しなどに取り組んでいきます。</p> <p>・これらの取組を通じて、施設を適切に維持・管理し、将来世代に過度な負担を先送りしないよう努めていきます。</p>
9	<p>・あかし斎場旅立ちの丘について、葬儀は近隣の民間の葬儀式場で行い、火葬は市営の斎場を利用する流れが一般的と思われます。家族葬が主流となる中、大規模な葬儀式場を市が運営する必要はないのではないのでしょうか。</p>	<p>・あかし斎場旅立ちの丘は、第2期計画の重点施設として位置付けており、葬儀式場については、「公と民間の役割分担の観点を踏まえ、施設の老朽化や今後の適正規模などを考慮しながら、民営化を検討する」ことを第2期計画の取組方針として掲げています。</p> <p>・現在の指定管理期間は2029年度までとなっており、それまでに今後の方針を検討し、具体的な取組内容を確定する予定です。</p>
10	<p>(旧市立図書館跡地) 解体費用が約8億円と聞きました。公共事業ということで、かなりふっかけられた(高額見積もり)試算だと感じます。それでも敢えて申し上げます。解体して県に返還すべきです。今回、私たちが直面している苦悩を子どもたち(未来の明石市民)に再び背負わせるのは酷です。この先、人口減は確定です。今こそ勇気ある決断をしましょう!</p>	<p>・当該施設はまちづくりの観点から必要なものとして整備を進めているところです。</p> <p>・いただいたご意見につきましては、担当課に共有させていただきます。</p>
11	<p>旧市立図書館跡地に計画されている地域交流センターに反対します。理由は以下です。</p> <p>(1) 公共施設最適化計画に全く反しています。「未来志向の市民のための施設」作りを目指すならアワーズホール、子午線ホール、勤労福祉会館、中崎公会堂、西部市民会館、大久保の保健センターなど既に数多く点在する既存施設の改修で対応すべき。</p> <p>(2) 不便過ぎる立地条件 一体どれほどの市民がああ坂を登ってホール、会議室を利用されるのでしょうか。文化博物館同様「使ったことのない施設」になる</p>	<p>・当該施設はまちづくりの観点から必要なものとして整備を進めているところです。</p> <p>・いただいたご意見につきましては、担当課に共有させていただきます。</p>

	<p>ことは確実です。</p> <p>(3) 決定プロセスが不明確 計画に対しいつ、どのような形で議会承認がなされたのか整理された形で開示してください。</p>	
12	<p>大久保北部のスマート IC 設置に反対します。</p> <p>(1) 市長、市は設置理由として「利便性」「経済性」を挙げられるが全く具体的ではありません。具体化して提示してください。</p> <p>(2) 1 回目、2 回目の調査費用を開示してください。それこそ税金の無駄遣いではないでしょうか。</p> <p>(3) 2 回目の調査結果の報告、及び住民説明会の時期を教えてください。</p>	<p>・第 2 期計画では、インフラは市民生活や経済活動を支える基盤であり、中長期的な視点をもって、計画的かつ効率的な整備等を行うこととしています。</p> <p>・いただいたご意見につきましては、担当課に共有させていただきます。</p>